

第 3 回

健康と文化の森地区産学公連携協議会

日時：2025 年（令和 7 年）3 月 21 日（金）

午前 10 時 00 分～

場所：藤沢市役所 本庁舎 6 階 6-1 会議室

次 第

1. 開会

2. 議事

(1) 前回協議会の振り返り

(2) 産学公連携実行プランの骨子について

(3) 展開する施策について

} 資料 2

3. 閉会

第3回 健康と文化の森地区

産学公連携協議会

令和7年3月21日（金曜日）

藤沢市役所 本庁舎6階 6-1会議室

事務局：藤沢市 都市整備部 西北部総合整備事務所
藤沢市 企画政策部 企画政策課
藤沢市 経済部 産業労働課
株式会社フジタ（土地区画整理組合 業務代行者）

議事

1. 前回協議会の振り返り
 2. 産学公連携実行プランの骨子について
 3. 展開する施策について
-

次 第

議事

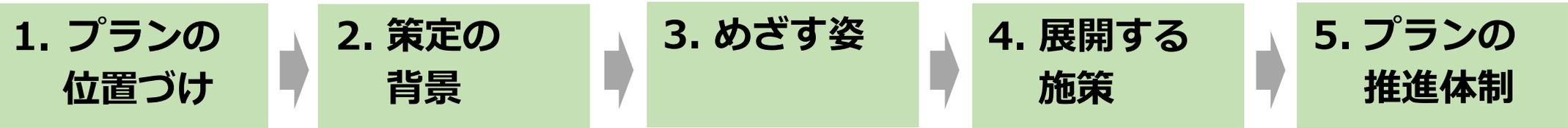
1. 前回協議会の振り返り

2. 産学公連携実行プランの骨子について

3. 展開する施策について

前回協議会の振り返り

■ 産学公連携実行プランの構成イメージ



■ 産学公連携のあり方について

- 産学公連携のあり方を考えるにあたり、本連携協議会とは別に次の取組を実施。

取組み内容

- ✓ 企業へのアンケート・ヒアリング及び意見交換（大学との連携や立地に対する考え方）
- ✓ 慶應義塾大学へのヒアリング及び意見交換
- ✓ 学生へのヒアリング及び意見交換（SFCの学生、他大学の学生）
- ✓ 近隣住民へのヒアリング及び意見交換

ヒアリング・意見交換より見えてきた事

- ✓ 研究所の進出は不透明。また、スタートアップやベンチャー企業が大学連携を期待しているが、見込みは不透明。
- ✓ 企業立地の判断においては、老朽化や手狭になったことに起因するケースが多い。また、人材確保の観点から住環境を重視する傾向。
- ✓ SFCでは理系、文系に捉われない活動が多く、一般的な産学公連携にはなりづらい。
- ✓ まちとの関わりに関心がある学生が潜在しており、産業系の連携だけでなく、商業施設等における連携にも期待。
- ✓ 起業をめざす学生に対しての支援も必要。

前回協議会の振り返り

■ 産学公連携のあり方について（つづき）

★本地区の産学公連携に求められる事は...

企業と大学との連携によるビジネス育成も重要だが、地域や大学学生による活動拠点の形成にも重きを置いた取組が求められる



- 地域と学生の接点を創出してなかった
- 学校以外に立ち寄る施設を設けてなかった
- まちづくりに携わる機会を供与してなかった

- 地域と学生の交流でまちが活性化する
- 学校以外にも立ち寄る施設があり、まちの関係者が増える
- まちづくりに携わることでまちに愛着を持つ事ができる

前回協議会の振り返り

■ 協議会での意見交換で挙げた主なキーワード

大学と地域の つながり創出

- ✓ 地元の協議会・イベントへの大学の参加
- ✓ 学生のやりたいが地域で実現
- ✓ 地域と大学の繋がりへの支援

コーディネート ・マッチング

- ✓ 企業のニーズ・大学のシーズのマッチング
- ✓ 公平・中立な団体
- ✓ 遠藤地区のPR
- ✓ 地域への協力に対する事業者のメリット

コミュニティの場づくり

- ✓ リビングラボ・サードプレイスなど場の創出
- ✓ まちの特徴に合わせたコミュニティスペース
- ✓ 大学と地域のコミュニケーションを図る可変性のある空間

インキュベーション

- ✓ 起業アクションのハードル
- ✓ 既存施設のリビングラボ・ショーケースとしての活用
- ✓ 実証実験の場としての活用
- ✓ マーケットサイズとビジネスのスケール化

学生のモチベーション・ キャリア形成

- ✓ キャリアに繋がるプロジェクトへの参画意欲
- ✓ キャリアに繋がる経験
- ✓ 実証実験へ学生の参画と学生研究への展開

前回協議会の振り返り

■ 湘南ビジネスコンテスト受賞事例（2006年～2015年）

年度	受賞内容	受賞企業所在地	事業テーマ	受賞後の状況
2006	中小企業意欲マンマン賞	藤沢市	井戸事業	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 飲める温泉水「鎌倉美人」を開発・販売 ❖ 井戸事業に特化した会社（茅ヶ崎市）を立ち上げ、災害用水洗トイレ「イドテック・トイレ」を展開 ❖ 2021年以降に長野県・横須賀市・茅ヶ崎市・品川区へ、イドテック・トイレを導入
2008	ビジネス大賞	藤沢市	高級ボトリング茶飲料の開発・販売	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 茅ヶ崎市に直営店工場を2016年オープン ❖ 日本航空（株）のファーストクラス、洞爺湖サミット、伊勢志摩サミット等で使用
2010	ビジネス大賞	藤沢市	次世代ビジネス用 EV車両（電動バイク）の開発・販売	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 2020年以降に、新聞配送店や京都市中央卸売市場に納車済み、更に採用増の予定
2012	ビジネス準大賞	藤沢市	映像制作・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 2013年に会社を設立（事業所・藤沢市片瀬海岸） ❖ 映像づくりのノウハウ、編成のツボが学べる教室「チャンネルプロデュースセミナー映像塾」を開講中
2014	ビジネス準大賞 なでしこ起業家賞	藤沢市	保育園への習い事講師派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 2015年には株式会社を設立、2016年にファンドから出資を受けた ❖ 代表は、内閣府から2019年度女性のチャレンジ賞特別部門賞を受賞
2015	ビジネス準大賞	藤沢市	現行の監視カメラの問題点を解消する新規監視カメラシステムの開発	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 2016年に、NEDOの「起業家候補（スタートアップイノベーター）の募集（研究開発型ベンチャー支援事業の実施）」の採択を受けた ❖ SFICのシェアードオフィスに入居し、I Mによる伴走支援中

前回協議会の振り返り

■ 湘南ビジネスコンテスト受賞事例（2017年～2022年）

年度	受賞内容	受賞企業所在地	事業テーマ	受賞後の状況
2017	ビジネス準大賞	藤沢市	藤沢産豚肉を使った長期熟成生ハム（ふじさわ生豚）の製造	❖長期熟成生ハムの市内飲食店への販路拡大、また横浜市内ホテル等への取引開始
2019	ビジネス大賞 来場者賞	茅ヶ崎市	相模湾の魚を使った魚醤（茅ヶ崎ナンプラー・えぼしの雫）の製造販売	❖コンテスト終了後、月間50～60本の販売が、現在は平均200本以上の販売に拡大 ❖機械化の導入を実施
2020	ビジネス準大賞	茅ヶ崎市	日本酒（一合缶）の販売	❖2023年シード調達を完了 ❖2023年香港で販売開始
2021	ビジネス大賞	藤沢市	中小企業の検査ストレスを解放する 卓上型AI外観検査システム	❖SFC-IVに入居し、IMによる伴走支援中 ❖2023年マイクロソフト社が提供するスタートアップ支援プログラムに採択
	スタートアップ賞	茅ヶ崎市	テーマ）本を通じて、安らぎを感じられる 居場所話せるシェア本屋	❖2022年に合同会社を設立
	湘南信用金庫賞	藤沢市	女性の美容サロン起業を叶える！ シェアサロン・ビジネスアカデミー	❖2023年特定創業申請、開業
2022	ビジネス大賞	藤沢市	コンポスター環（たまき）でキッチンから 始める地球の未来作り	❖2023年から藤沢市のコンポスト導入補助金対象商品に決定（通常8,800円が3,000円で購入可）
	ビジネス準大賞	茅ヶ崎市	フラワーロスゼロを目指して、癒しの キャンドル	❖2023年、国際女性デーにおいて、廃棄花（ミモザの花）を使ったキャンドルを出展

次 第

議事

1. 前回協議会での意見交換内容の振り返り

2. 産学公連携実行プランの骨子について

3. 展開する施策について

産学公連携実行プランの骨子について

■ 産学公連携実行プランの構成イメージ

これまでに挙げた事項を基に骨子案を組み立て

1. プランの位置づけ

- ・ 藤沢市の既存計画との関係性やプランの役割について明示する。

2. 策定の背景

- ・ 産学公連携に関するこれまでの取組や現状、課題を交えながら策定の背景を明示する。

3. めざす姿

- ・ 現状のまちづくりの状況や今後のまちづくりの方向性も勘案しながら、産学公連携の「めざす姿」を明示する。（例えば、目標、ビジョン、方針等）

4. 展開する施策

- ・ 「めざす姿」を実現するために展開する施策を明示する。ハード・ソフトの両面から明示する。
- ・ 各施策を担うそれぞれの主体の関わり方を明示する。

5. プランの推進体制

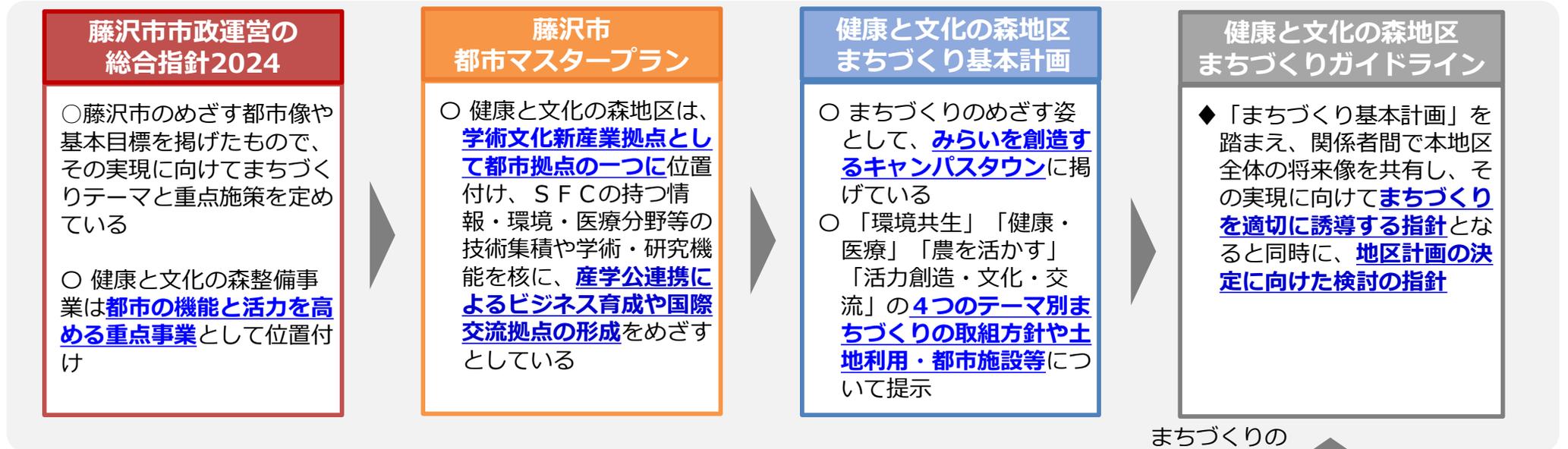
- ・ 産学公連携実行プランを推進するための体制を明示する。

産学公連携実行プランの骨子について

- これまでに上がった事項・要素等による骨子案

1. プランの位置づけ に関連する内容

- 藤沢市の既存計画やまちづくりガイドラインとの関係性および、本プランの役割を示す。



まちづくりの誘導にかかる部分を反映

「都市マスタープラン」や「まちづくり基本計画」に具体的な取組方針が示されていないため、産学公連携実行プランとしてとりまとめる。

健康と文化の森地区産学公連携実行プラン

都市拠点の一つに位置づけている健康と文化の森地区において、慶応義塾大学SFCの持つ情報・環境・医療分野等の技術集積や学術研究機能を核にまちづくりを進めるため、大学の学生や教職員、研究者、産業界、市民、行政などまちづくりを担う**さまざまな主体が連携し地区の強みを活かす活動や取組についてとりまとめる。**

産学公連携実行プランの骨子について

■ これまでに上がった事項・要素等による骨子案

2. 策定の背景 に関連する事項

2-1 産学公連携に関するこれまでの動き

- 本地区で展開されてきた産学公連携の動きを示す。

健康と文化の森基本構想(案)段階想定(1987)～

大学誘致と併せ、SFC北側にまで広がる大規模な開発(バイタライズセンター建設)が行われることによって、活発な交流が想定されていた。



- バイタライズセンター施設
- イベントスタジアム
 - イベントホール
 - 健康増進センター
 - 会議ホール
 - 交流センター
 - インテリジェントセンター
 - 農業活性化センター
 - 学習研修センター など

慶応義塾大学キャンパス開設(1990)～

SFCの立地を契機に、市街化調整区域でできる範囲で段階的にまちづくりの歩みを進めてきた。

一方で、SFC北側のバイタライズセンター周辺については、希少種保全の高まりにより、現状維持とする方針に変更になった。



- 1990年(平成2年) 慶応義塾大学SFC開設
- 2001年(平成13年) 慶応義塾大学SFC 看護医療学部開設
- 2006年(平成18年) 慶応藤沢イノベーションビレッジ開設
- 2017年(平成29年) 湘南慶育病院開設
- 2020年(令和2年) βビレッジ(滞在型教育研究施設)完成
- 2023年(令和5年) Hビレッジ(オンキャンパス型の国際学生寮)完成

産学公連携実行プランの骨子について

- これまでに上がった事項・要素等による骨子案

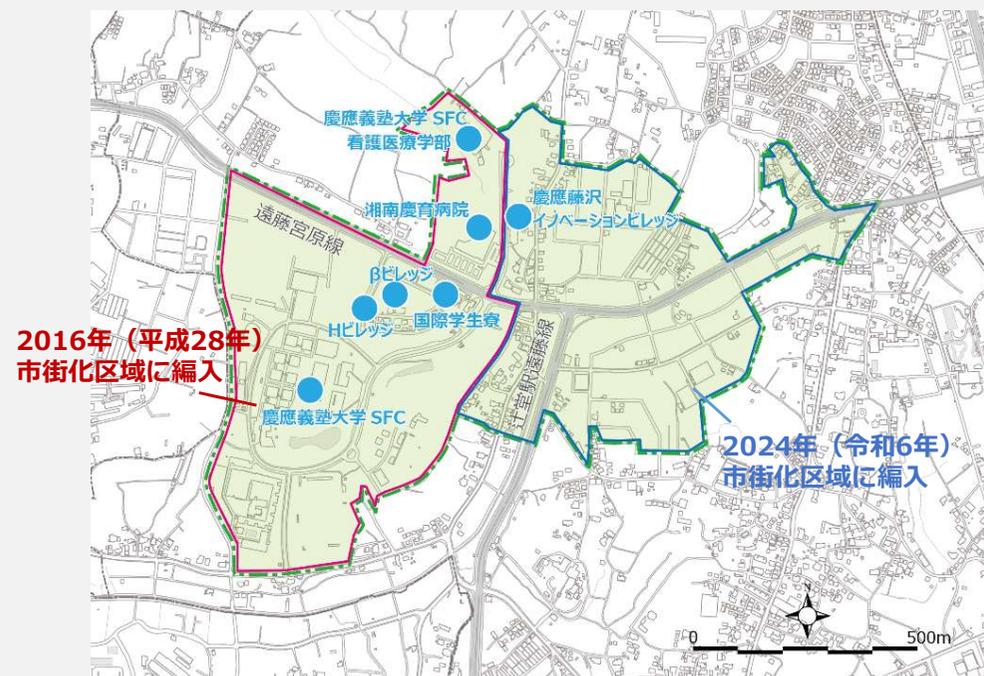
2. 策定の背景 に関連する事項

2-1 産学公連携に関するこれまでの動き

- 本地区で展開されてきた産学公連携の動きを示す。

市街化区域への編入(2016年、2024年) 土地区画整理組合の設立認可(2024年)

地区西側のSFC周辺エリアが2016年に市街化区域に編入。
地区東側は2024年に市街化区域への編入及び土地区画整理組合の設立認可がされた。



過去～現在

多様な人々、主体の交流・連携によりまちの価値を向上する持続可能な地域コミュニティの育成が求められる。

+α(社会動向)

まちを取り巻く環境の変化。

本地区における産学公連携を、改めて、考える。

産学公連携実行プランの骨子について

- これまでに上がった事項・要素等による骨子案

2. 策定の背景 に関連する事項

2-2 産学公連携の課題

- 関連計画に、産学公連携の具体的な取組方針が示されていないため、産学公連携のめざす姿を考えるにあたり、企業や学生、慶応義塾大学、近隣住民等にアンケート・ヒアリング・意見交換など、様々な手法で得られた意見をもとに現状・課題・ニーズを整理する。

【企業・マーケットの目線】 強み:近隣に大企業の研究開発拠点等が存在

- ✓ 研究所の進出は不透明。また、スタートアップやベンチャー企業が大学連携を期待しているが、見込みは不透明。
- ✓ ハード面の整備だけでなく「税の優遇や補助金」「事業サポート体制等」「ソフト面での施策などの各種支援」のニーズあり。

【大学(学生・教職員)の目線】 強み:約5,000人の関係者が存在

- ✓ 研究室が独自で地域との交流を行っている場合もあるが、単発・単独で限定的。
- ✓ まちとの関わり(地域や企業等)に関心がある学生が潜在しており、産業系の連携だけでなく、商業施設等における連携にも期待ができる。
- ✓ 「産学公でつながれる場所」「起業への支援」に対するニーズあり。

【地域住民の目線】 強み:豊かな自然・文化を背景とした住環境

- ✓ SFCは一般の人でも自由に入出入りできることは知っているが、出入りする機会が少なく、緑で囲まれ、高台に立地していることから足を踏み入れにくい。
- ✓ 「学生と交流できる機会や場所」に対するニーズあり。

【その他の目線】
まちづくりの進展
による、人口・来
街者の増加

これらを
解消し、
本地区の
継続的な
発展を支える
必要がある

産学公連携実行プランの骨子について

- これまでに上がった事項・要素等による骨子案

※文科省HP抜粋
産学官連携の課題

2. 策定の背景 に関連する事項

2-2 産学公連携の課題

- 産学公連携の現状把握として、一般的な産学公連携における問題点・課題を整理する。

【問題点】

- 依然として、特に国立大学では公務員としての厳しい制限があり、組織の自主・自律性が低く、**大学等が主体的に研究成果を企業に移転するようなシステムが形成されていない。**
- 産学官連携に対応する方策が、規制緩和も含めて進められてきているが、**有機的に稼動していない。**
- 制度改善や規制緩和によって、**大学等や研究者が制度改善を把握することが難しくなっており**、「何がどこまで、できるのか」について迷う例が見られる。
- 大学等の研究成果や**人的資源を活用したベンチャー起業件数が**欧米諸国に比べて**低い水準**に留まっているなど、産学官連携による新産業の創出を進める観点からは**施策等が不十分**であること。

【課題】

- 国際的に見ても、大学等の**研究成果の社会的活用やそのための組織力の点で充実**していない。
- 短期的な開発重視へ移行しつつある企業にとって、**大学等とのパートナーシップによる独創的な技術シーズの確保が課題**となってきた。
- 企業から国内の大学等への**研究開発投資額が**海外研究機関へのそれに比べて**相当低い**。
- 技術・ビジネス革新の**担い手の能力が最大限発揮できる組織・システム**が整っていない。
- 新産業創出の担い手となる**人材が少ない**。また、**ベンチャー起業を支える仕組みが不十分**である。
- 産学官の間で、**課題について問題意識が十分に共有**されていない。

産学公連携実行プランの骨子について

- これまでに上がった事項・要素等による骨子案

※文科省HP抜粋
産学官連携の新たな展開へ向け
て(平成21年度改訂概要第2版)

2. 策定の背景 に関連する事項

2-2 産学公連携の課題

- ・ 一般的な産学公連携における課題・問題点・進まない理由を事例から把握する。

【高等専門学校でのシーズ発掘活動】

6高専
×
各高専地域連携
テクノセンター

《取組内容》地域イノベーション創出のための、シーズ発掘活動

- ・各高専の教員は、独自で研究を進めており、高専間の共同研究は皆無
- ・大多数の教員から、多忙で研究する時間が少ない、研究や産学官連携への取組は考課に繋がらない、と面談に応じなかった

【継続的なシーズ発掘とその活用】

A大学
×
A市

《取組内容》最新の研究シーズの把握、及び的確な情報発信を行う

- ・新製品開発への進展が少ない
- ・目標を持ったシーズ創出が多くない
- ・社会貢献に対する意識改革

【マッチングの向上を目指す試み】

9大学
×
B市

《取組内容》市内の中小企業が実用化できそうなシーズの提供

- ・企業のニーズ情報が少ない
- ・少数の大学の知財では対応に限界がある
- ・親密な交流の欠如(連絡不通)

産学公連携実行プランの骨子について

- これまでに上がった事項・要素等による骨子案

※文科省HP抜粋
産学官連携の新たな展開へ向け
て(平成21年度改訂概要第2版)

2. 策定の背景 に関連する事項

2-2 産学公連携の課題

- ・ 一般的な産学公連携における課題・問題点・進まない理由を事例から把握する。

【地域資源を活用した商品開発】

C大学
×
商工会議所

《取組内容》地域資源を活用したビジネスチャンスの創造の仕組みづくり

- ・共同研究を行った企業のマネジメント能力の見極め失敗
- ・関係法令の認識不足により販売促進用のパンフレットの表現の見直し

【共同研究成果の第三者への供与】

D大学
×
D社

《取組内容》E大学とE社の共同研究の成果の第三者への技術供与

- ・対価の支払いにおける協議の中断
- ・技術供与先候補の選定が甘かったことによる協議の段どり不備

【大学の知を活用して地域の活性化を】

E大学
×
E県・E市

《取組内容》工業出荷額の減少を受け、新たな産業を興し地域の活性化を図る

- ・「報連相」の漏れによる「時に停滞し、またある時は後退」
- ・文化が異なる産・学・官の意志決定や時間の違いに留意

産学公連携実行プランの骨子について

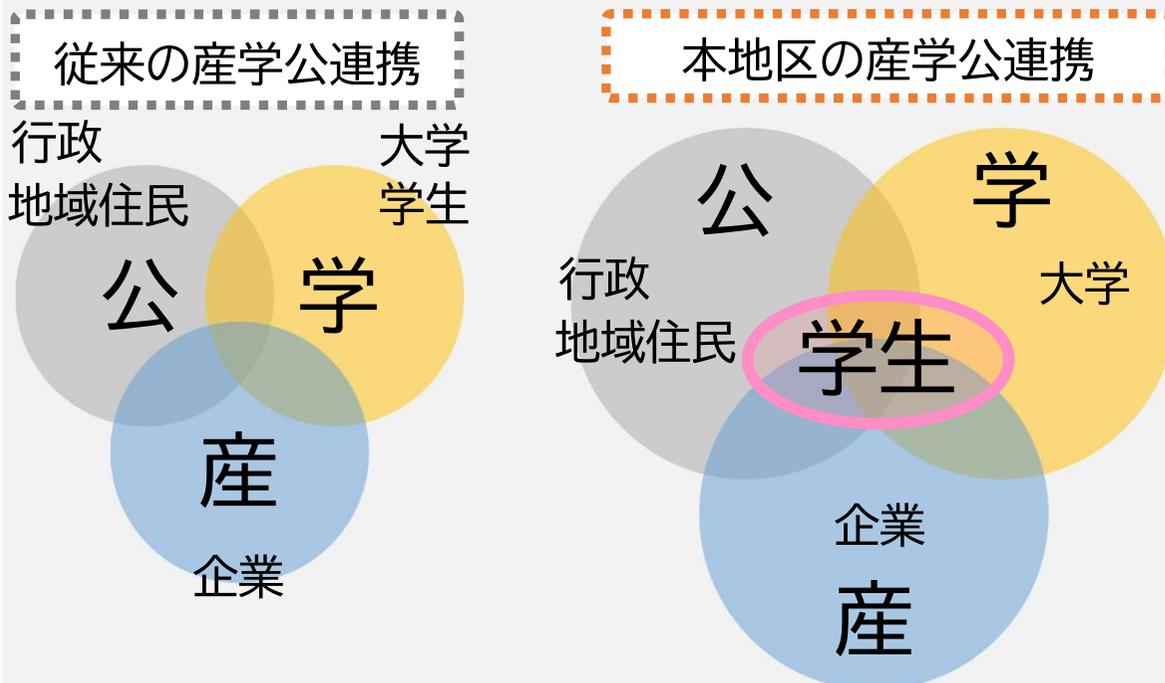
■ これまでに上がった事項・要素等による骨子案

3. めざす姿 に関連する事項

- 策定の背景に記載の課題解決を図るため、また、基本計画で掲げるビジョン「活力創造・文化・交流のまちづくり」を実現するため、産学公連携実行プランのめざす姿を設定する。

★本地区の産学公連携に求められる事は...

企業と大学との連携によるビジネス育成も重要だが、地域や大学・学生による活動拠点の形成にも重きを置いた取組が求められる



産学公連携のめざす姿の設定

1. 多世代、異文化、異業種交流等の活発化
2. 新しい「もの」「技術」「アイデア」「産業」の創出・発信
3. 人々の多様化するニーズやライフスタイルへの対応

次 第

議事

1. 前回協議会での意見交換内容の振り返り

2. 産学公連携実行プランの骨子について

3. 展開する施策について

展開する施策について

■ 産学公連携実行プランの構成イメージ

1. プランの位置づけ

- ・ 藤沢市の既存計画との関係性やプランの役割について明示する。

2. 策定の背景

- ・ 産学公連携に関するこれまでの取組や現状、課題を交えながら策定の背景を明示する。

3. めざす姿

- ・ 現状のまちづくりの状況や今後のまちづくりの方向性も勘案しながら、産学公連携の「めざす姿」を明示する。（例えば、目標、ビジョン、方針等）

4. 展開する施策

- ・ 「めざす姿」を実現するために展開する施策を明示する。ハード・ソフトの両面から明示する。
- ・ 各施策を担うそれぞれの主体の関わり方を明示する。

5. プランの推進体制

- ・ 産学公連携実行プランを推進するための体制を明示する。

意見聴取結果や
連携協議会での意見
を踏まえて整理する。

展開する施策について

■ めざす姿に基づいた施策

- めざす姿の実現に向け、ディスカッションやアンケート・ヒアリング等でいただいたご意見を踏まえ、施策案を検討した。

めざす姿

前回協議会やアンケート・ヒアリング等でいただいたご意見

施策(案)

多世代、異文化、異業種
交流等の活発化

多様な交流の場や機会の創出

地域活動の醸成

新しい「もの」「技術」
「アイデア」「産業」の
創出・発信

イノベーション人材やベンチャー、
新産業の創出・育成

社会実験と社会実装の推進

人々の多様化するニー
ズやライフスタイルへの
対応

学びあう場の創出

健康・いきがいくりの推進

※次頁以降で個別に整理

展開する施策について

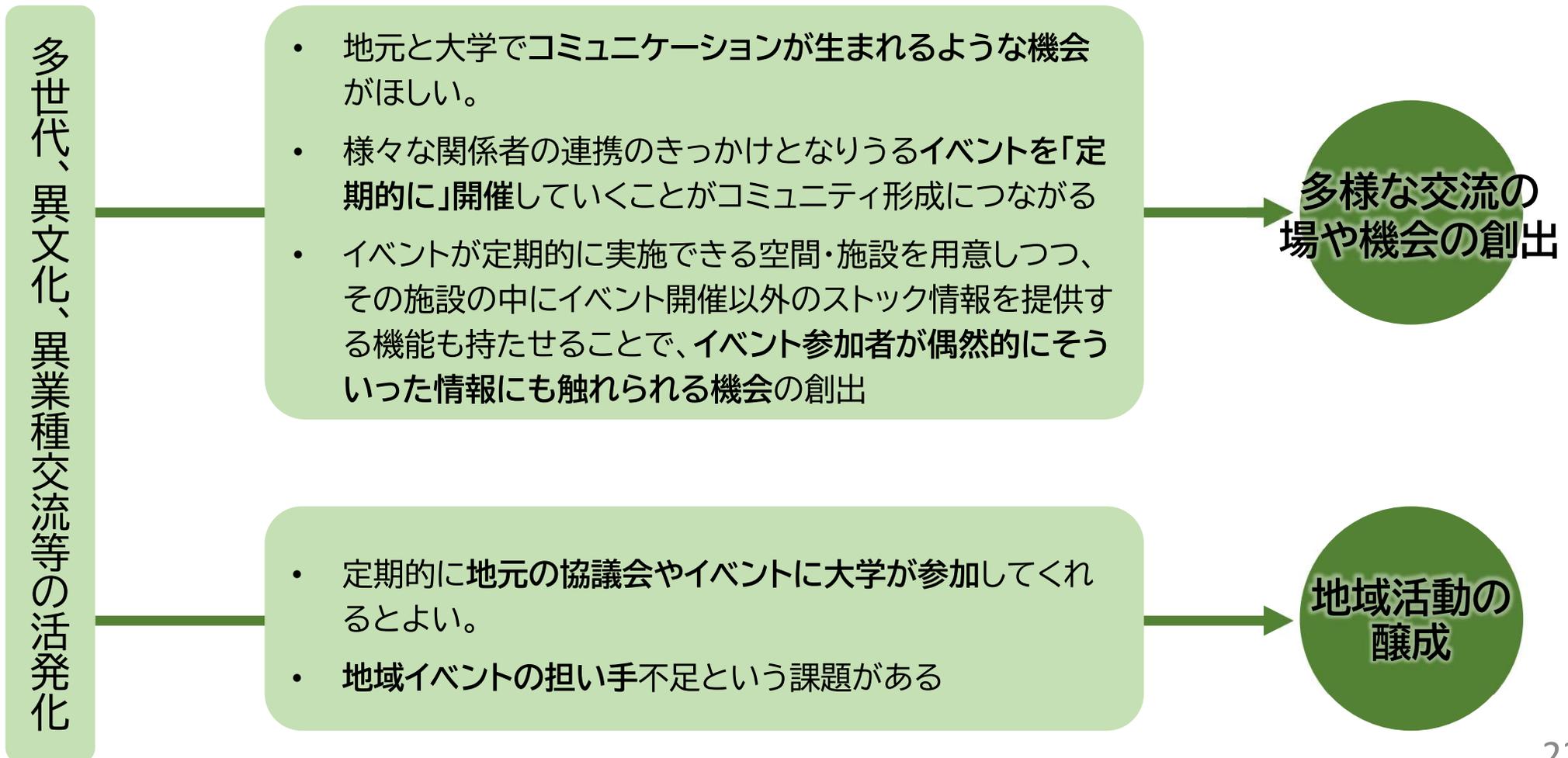
■ めざす姿に基づいた施策

- めざす姿の実現に向け、ディスカッションやアンケート・ヒアリング等でいただいたご意見を踏まえ、施策案を検討した。

めざす姿

前回協議会やアンケート・ヒアリング等でいただいたご意見

施策(案)



展開する施策について

1. 多世代、異文化、異業種交流等の活発化

1-1 多様な交流の場や機会の創出

施策に関連する事例



学生との交流活動について 国際教養大学

- 学生と地域の方々との交流の機会を提供【交流活動の例】
- 留学生による母国の文化に関する紹介
- 簡単なゲーム等を通じた交流
- 学生による学校生活や留学、中学・高校時代の経験談

産	-
学	参加(学生)、申込受付・学生派遣(大学)
公	参加(住民)、交流プログラムの企画・申込(行政)

参考:学生との交流活動について
(国際教養大学 webページ)



新川崎タウンカフェ 川崎市

- マンション低層階にコミュニティカフェを導入
- 「手作り工房」「食彩工房」「つながり工房」の3つの機能で、地域の住民や就業者等をつなぐ
- カフェだけでなく、ワークショップの場としても活用

産	コミュニティカフェの整備、運営、企画
学	運営・企画補助
公	参加、運営・企画補助

参考:「住・商一体の複合再開発で誕生した「パークタワー新川崎」に「コミュニティカフェ」を初導入」プレスリリース(三井不動産レジデンシャル株式会社、株式会社イータウン)

展開する施策について

1. 多世代、異文化、異業種交流等の活発化

1-1 多様な交流の場や機会の創出

施策に関連する事例



こくぶんじカレッジ 国分寺市・NPO法人マルスイ協働

- まちを自分ごとにするための連続講座
- 自分のやりたいこと、できること、やれる時間をつかって、まちで活動するための学びとコミュニティが生まれる場

産	企画・運営(協働事業者) 参加(地域企業)
学	講師(大学)
公	企画・運営・委託(行政) 参加(住民)

参考:こくカレwebページ

展開する施策について

1. 多世代、異文化、異業種交流等の活発化

1-2 地域活動の醸成

施策に関連する事例



金沢学生のまち市民交流館 金沢市

- 自主的なまちづくり活動の場として利用され、まちなかにおける「にぎわいと活力の拠点」となることを目的に整備
- 学生団体は無料で利用可能
- 常駐のコーディネーターがまちづくり活動や学生の相談に対応
- 市民活動サポートセンターも館内に開設

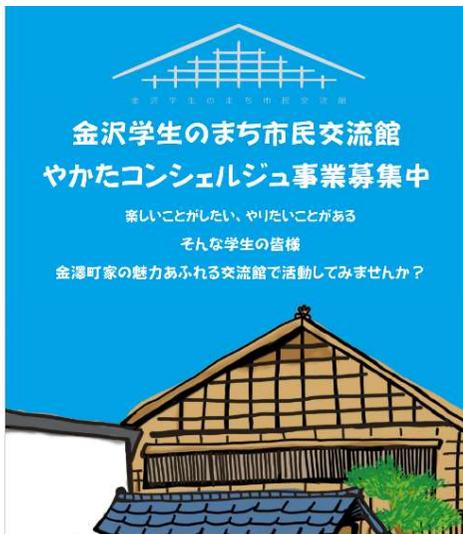
参考:金沢学生のまち市民交流館webページ

やかたコンシェルジュ事業 金沢市

- 拠点の認知度が低いという課題を解決するため、学生が拠点を中心に行う自主的なまちづくり活動を支援する事業。
 - 事業構築にあたっては、拠点のコーディネーターのサポートを受けることも可能。
- 参考:「やかたコンシェルジュ」金沢市webページ

産	コーディネート	
学	運営	利用(学生)
公		拠点整備

学公で組織する
金沢学生のまち市民交流館
運営会議が実施



展開する施策について

1. 多世代、異文化、異業種交流等の活発化

1-2 地域活動の醸成

施策に関連する事例



学生×企業パートナー事業 金沢市

- 地域活動を行う学生団体と企業が、自身の活動の中で協働をすすめていきたい内容を議論
- 企業からの支援実績: イベントへの物資提供、動画制作補助など

参考: 学生サポーター企業登録制度(金沢市 webページ)

産	参加(企業)
学	参加(学生団体)
公	企画・運営

学公で組織する
金沢学生のまち市民交流館
運営会議が実施



学生の地域コミュニティ連携促進事業 金沢市

- 学生×地域連携プラットフォームに登録した学生団体が、地域団体からの派遣要請を受けて、地域での活動を実施
- 地域と学生とのつながりを創出し、地域活動の持続可能性の向上及び学生の地域コミュニティに対する意識の醸成

参考: 学生の地域コミュニティ連携促進事業(金沢市webページ)

産	市民活動等と連携して参加
学	参加(学生団体)
公	企画・運営
	参加(地域住民)

学公で組織する
金沢学生のまち市民交流館
運営会議が実施

展開する施策について

1. 多世代、異文化、異業種交流等の活発化

1-2 地域活動の醸成

施策に関連する事例



協働のまちづくりチャレンジ事業 金沢市

- 市民等の提案を受け、市民と行政が協働してまちづくりに取り組む事業。
- 事業構築にあたっては、拠点のコーディネーターのサポートを受けることも可能。
- 拠点ホールにて事業交流会を行うなど、市民活動団体同士の交流の機会を創出し、人的ネットワークの拡大とともに、情報交換・学びの場を提供。

参考:協働のまちづくりチャレンジ事業(金沢市 webページ)

産	市民活動等と連携して参加	
学	企画・運営	参加(学生団体)
公		参加(地域住民)

学公で組織する
金沢学生のまち市民交流館
運営会議が実施

展開する施策について

1. 多世代、異文化、異業種交流等の活発化

1-2 地域活動の醸成

施策に関連する事例



学まちコラボ事業

公益財団法人コンソーシアム京都・京都市協働

- 学生の地域活動参画に対する支援
- 学生と地域がコラボしてまちづくりや地域の活性化に取り組む企画・事業に、支援金を交付
- イベント企画運営だけでなく、居場所づくりの地域活動に参画する事例もあり

産	学生との連携・協働	
学	企画・支援金交付	地域活動参画(学生)
公		地域活動実施(住民)

学公で組織する(公財)大学コンソーシアム京都と京都市が実施

参考:令和6年度「学まちコラボ事業」について(大学コンソーシアム京都webページ)



11月Kサロン | マナビータの酒場～教育に悩める旅人よ あつまれ!～



10月Kサロン | 見守る子育て～子どもの成長に寄り添って～



8月Kサロン | 【速報】街と暮らしのアンケート～これからの柏の葉に求められるものとは?～



5月Kサロン | シン・プラスチック～海洋プラスチック問題解決!?丈夫だけど海で“溜ける”～

Kサロン

柏の葉キャンスタウン/柏の葉UDCK

- この地域で気になること、取り組んでいること等を情報交換をする交流会
- 地域住民以外でも、当日参加可能
- 月1回程度開催

参考:Kサロン(UDCK webページ)

産		参加
学	開催場所の提供、企画・運営	参加
公		参加

産学公で組織するUDCKが実施

展開する施策について

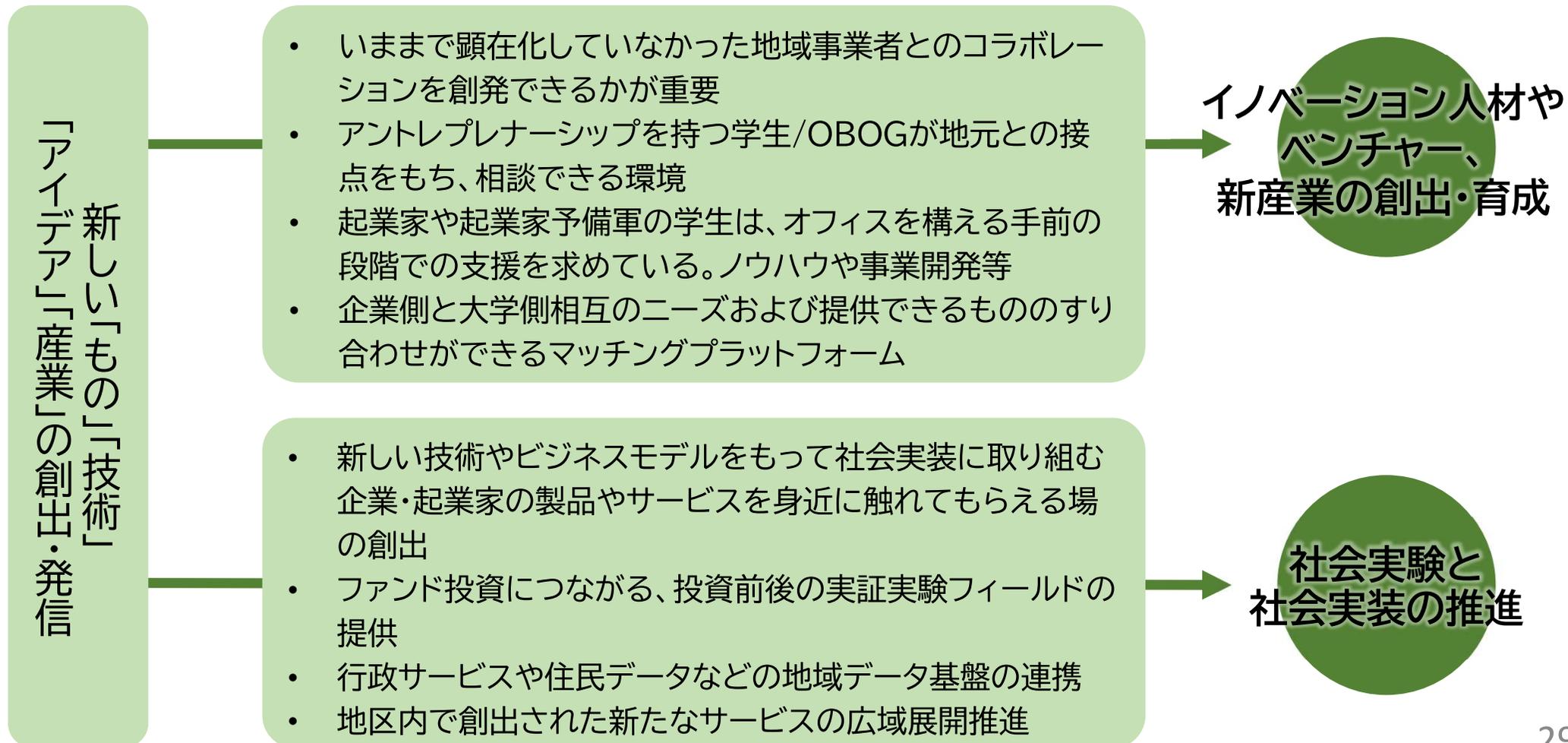
■ めざす姿に基づいた施策

- めざす姿の実現に向け、ディスカッションやアンケート・ヒアリング等でいただいたご意見を踏まえ、施策案を検討した。

めざす姿

前回協議会やアンケート・ヒアリング等でいただいたご意見

施策(案)



展開する施策について

2.新しい「もの」「技術」「アイデア」「産業」の創出・発信 2-1イノベーション人材やベンチャー、新産業の創出・育成

施策に関連する事例



FUKUOKA GROWTH NEXT 福岡市・パートナー企業

- 起業相談ができるカフェ
- 業種を問わず起業の流れや事業計画の作り方など、幅広く相談可能
- 法人設立前後に必要な手続きをワンストップでサポート
- 創業前後のビジネスプランや事業計画について、VCや先輩起業家からメンタリング

参考:STARTUP CAFE webページ、カフェプレスVol.47

産	運営委託	スポンサード、利用(起業家)
学		
公		各種支援(行政)

産公で組織する
運営委員会が実施



交流会型クラウド・ファンディング 日本全国(地域クラウド交流会)

- 地域住民が起業家の応援を通して、地域活性化を目指す交流会形式のイベント
- 地域の人たちが参加することで、地域全体のビジネスの活性化を図る

産	主催、協賛(企業)	参加(起業家)
学	-	
公	共催、後援(行政)	投票(住民)

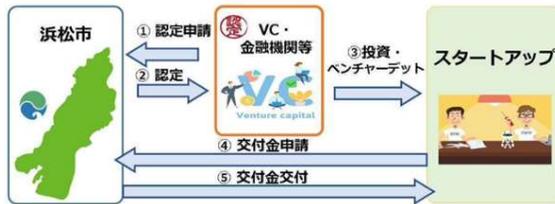
参考:地域クラウド交流会webページ

展開する施策について

2.新しい「もの」「技術」「アイデア」「産業」の創出・発信

2-1イノベーション人材やベンチャー、新産業の創出・育成

施策に関連する事例



ファンドサポート事業 浜松市

- 市内スタートアップに対して投資を行うVC等と協調し資金を交付することで、スタートアップの事業化を支援する取組
- 浜松市が認定するVC及び金融機関(認定金融機関)から投資等を受ける事ができる

産	起業(ベンチャー企業) 出資・融資(認定VC)
学	-
公	申請受付、交付金(行政)

参考:浜松市ベンチャー企業進出・成長応援サイトHAMACT!!



実証実験サポート事業 浜松市

- スタートアップ企業等への支援により産業を振興することを目的に実証実験サポート事業の実施
- 市内公共施設、協力企業が有する施設などの実証実験フィールドの斡旋や経費支援(補助率2分の1以内)、各種調整など

産	実験実施(企業)
学	実験実施(大学)
公	募集、実証実験サポート、経費支援など(行政)

参考:浜松市実証実験サポート事業webページ

展開する施策について

2.新しい「もの」「技術」「アイデア」「産業」の創出・発信

2-2 社会実験と社会実装の推進

施策に関連する事例



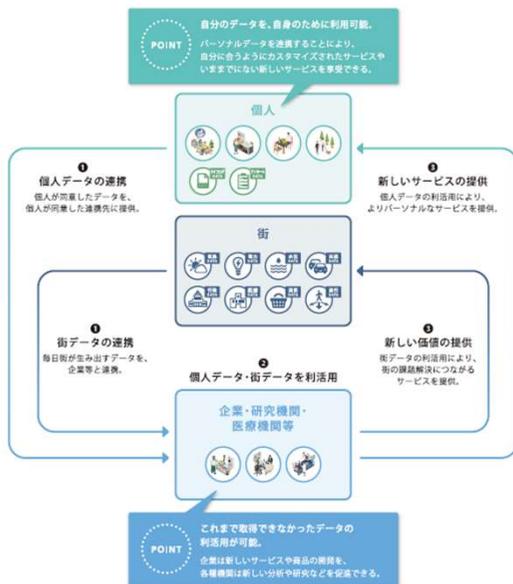
みんなのまちづくりスタジオ 柏の葉キャンパスタウン/UDCKTM

- 街の生活者を中心に企業・行政・大学が共創をするためのプラットフォーム
- 生活者目線の新製品・新サービスを生み出したい企業・行政・大学がプロジェクトオーナーとなり、生活者と共に連続したアイデア出し～実証を行う

参考:みんなのまちづくりスタジオ(UDCK webページ)

産	開催場所の提供、企画・運営補助	企画・運営
学		
公		参加(住民)

産学公で組織するUDCKTMが実施



柏の葉データプラットフォーム 柏の葉キャンパスタウン/UDCKTM

- 個人データや街のデータの連携を安全に管理し、企業、各種機関が利活用
- 企業や各種機関が新しい価値やサービスを創造し、個人や街へ還元する好循環を生む
- 個人ユーザーは個人データの提供先を自ら決定

参考:柏の葉データプラットフォーム(柏の葉スマートシティコンソーシアム等)

産		データの利活用・サービスの提供
学	データ連携	データの利活用・サービスの提供
公		データの連携・サービスの享受

産学公で組織するUDCKTMが実施

展開する施策について

2.新しい「もの」「技術」「アイデア」「産業」の創出・発信

2-2 社会実験と社会実装の推進

施策に関連する事例



官民連携オープンイノベーション企画 「Innovation for New Normal from Shibuya」 渋谷区

- 日常における社会課題の解決策をスタートアップ企業・研究機関などから募集
- 渋谷区担当部署とのサービス開発に向けた調整、実証実験の実施協力、渋谷区ネットワークによる協業支援など

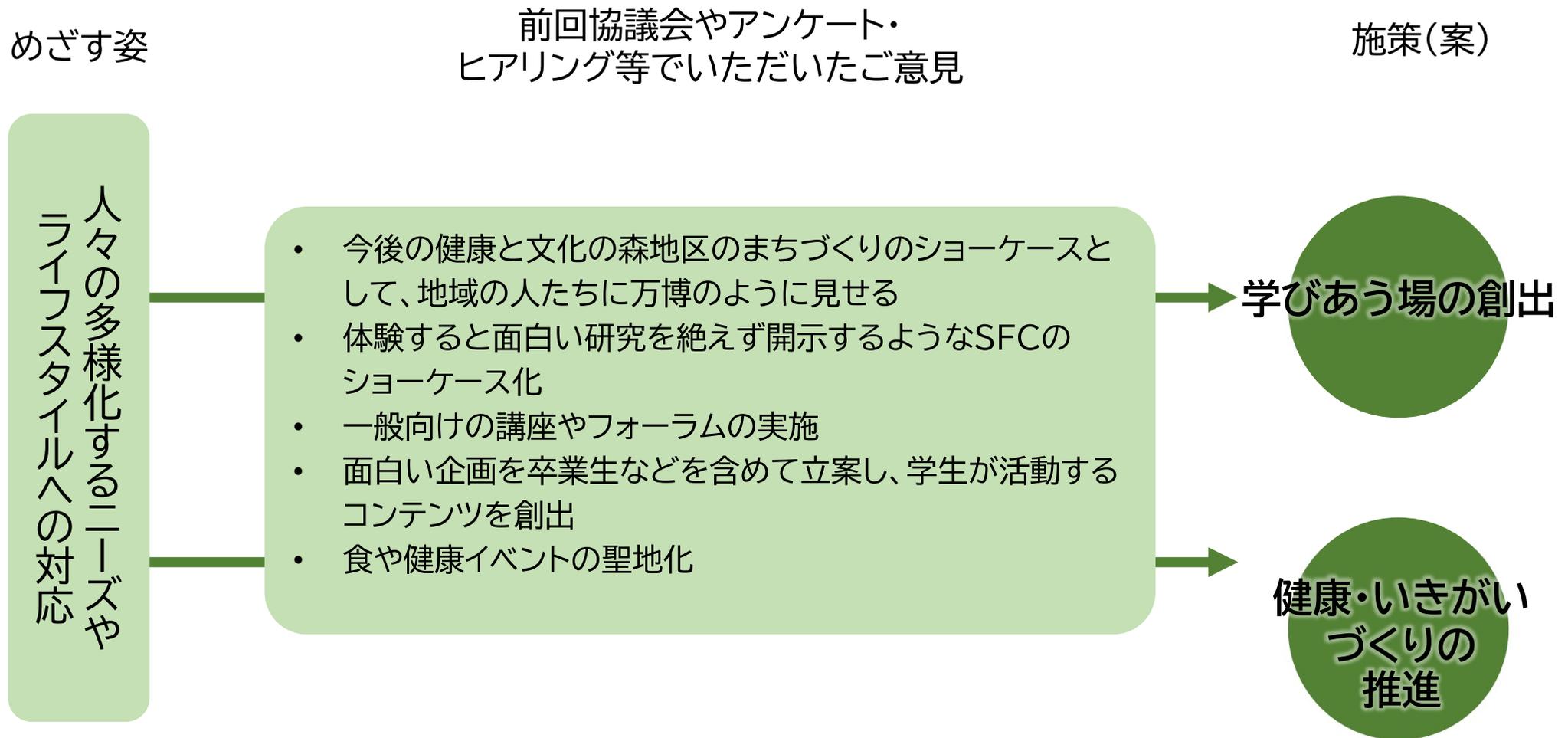
参考:渋谷区HP「実証実験事業」より

産	応募、実験実施(企業)
学	実証実験、応募(大学)
公	募集、協業支援(行政) モニター登録(住民等)

展開する施策について

■ めざす姿に基づいた施策

- めざす姿の実現に向け、ディスカッションやアンケート・ヒアリング等でいただいたご意見を踏まえ、施策案を検討した。



展開する施策について

3.人々の多様化するニーズやライフスタイルへの対応

3-1 学びあう場の創出

施策に関連する事例



街まるごとオープンキャンパス 柏の葉キャンパスタウン/UDCK

- 大学キャンパスや病院の一般公開、研究センターの文化祭などを短期間に集中して実施
- 一般の人が参加・見学できる情報をまとめ、まち全体をキャンパスに見立てた広報を実施

参考:街まるごとオープンキャンパス(UDCK webページ)



みその都市デザインスタジオ みその都市デザイン協議会

- 大学生・大学院生向けの実践演習プログラム
- 美園地区を対象フィールドに、地域住民や企業等とのオープンな対話を通じて、空間デザインや制度設計を磨く
- 地域の課題解決に向け、大学の知見や技術、アイデアを活かすことが狙い

参考:みその都市デザインスタジオ(UDCMi webページ)

産	情報取り まとめ ・広報	各イベントの 企画・運営
学		各イベントの 企画・運営
公		参加(住民)

産学公で組織する
UDCKが実施

産	企画・ 運営	参加(企業)
学		受講
公		参加(住民)

産学公で組織する
みその都市デザイン協議会が実施

展開する施策について

3.人々の多様化するニーズやライフスタイルへの対応

3-2 健康・いきがいくりの推進

施策に関連する事例



わくわく都民農園小金井 小金井市

- シニア農園、福祉農園、地域農園、こども農園、学校農園の5種類の農園を展開
- 農作業を楽しみながら学びや教育、生きがい、社会との関わりを体験
- 各農園利用者は年間で固定だが、月1回程度のペースで、住民向けのイベント等も実施

参考:わくわく都民農園小金井の紹介 (小金井市観光まちおこし協会webページ)

産	利用(福祉農園) 運営(協会)
学	利用(学校農園)
公	事業用地提供(農家) 農園整備(行政)



スロージョギング×健康モニタリング さいたま市美園地区

- 現地(実技)およびオンライン(座学と簡単な実技)の組合せによる健康講座
- スマートウォッチ等を用いて収集される健康関連データをもとに、一人ひとりに最適な健康アドバイス等を行う実証実験プログラムも同時開催

参考:スロージョギング×健康モニタリング実証実験モニター参加者募集! (UDCMi webページ)

産	企画・ 運営	会場提供等協力 (企業)
学		
公		会場提供等協力 (企業) 参加(住民)

展開する施策について

■ 展開する施策に基づく取組に対する意見交換

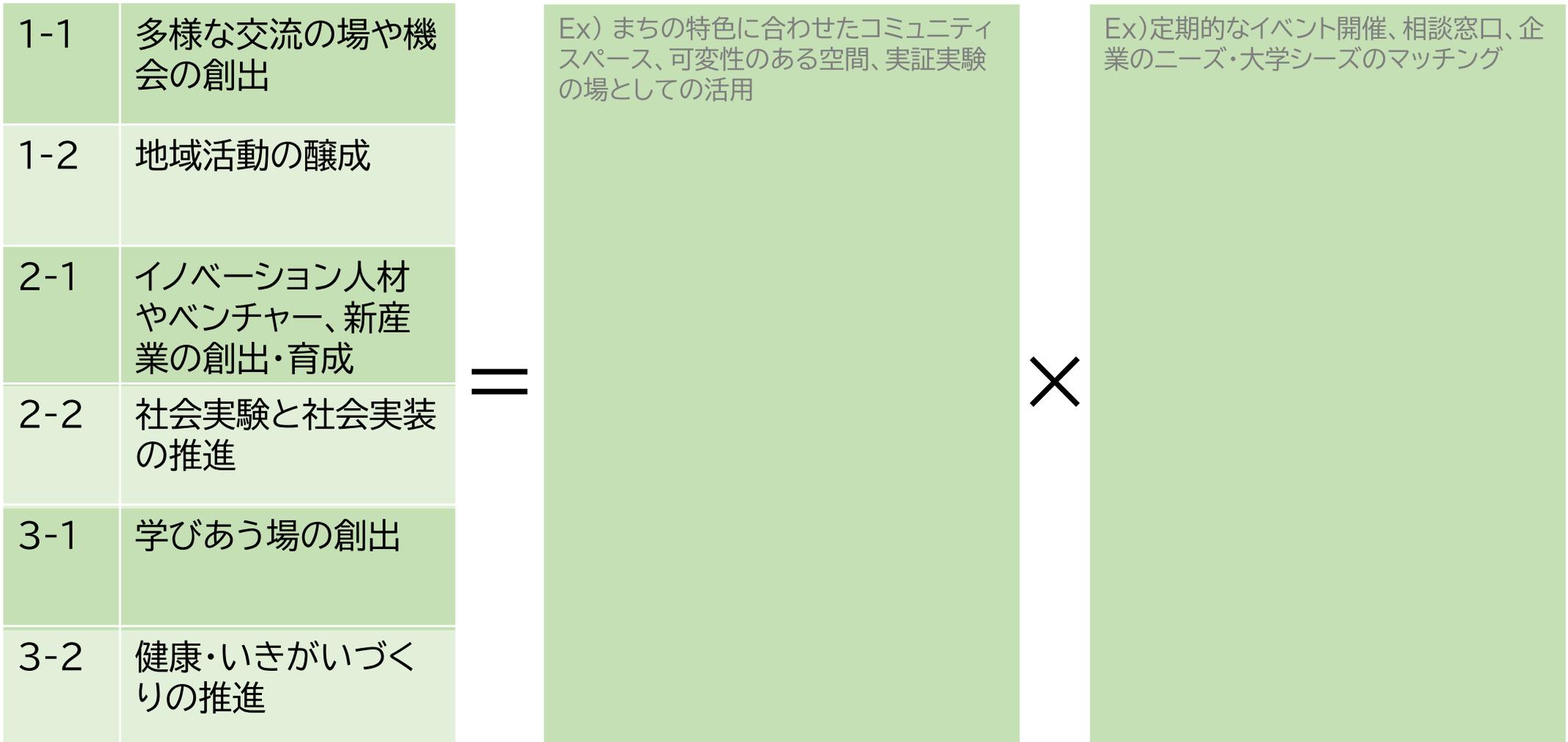
- ・ 施策に関連した意見交換を行わせていただきたい。

取組

施策(案)

ハード施策

ソフト施策



Ex:取組に係る前回協議会までに出た意見のキーワード

健康と文化の森地区産学公連携協議会 名簿 (敬称略)

■ 構成員

	氏名	所属等
学識経験者 有識者	<small>しみず</small> 清水 たくみ	慶應義塾大学 総合政策学部 准教授
	<small>やなざわ だいすけ</small> 柳澤 大輔	株式会社カヤック 取締役会 代表取締役 CEO
	<small>まつだ けんじ</small> 松田 賢治	Fujisawa SST マネジメント株式会社 代表取締役社長
	<small>いしざか りゅうと</small> 石坂 颯都	ミライドア株式会社 (フューチャーベンチャー キャピタル株式会社から商号変更) 投資本部副本部長
関係事業者	<small>いさがい よしのり</small> 飯盛 義徳	慶應義塾大学 SFC 研究所所長 / 総合政策学部 教授
	<small>なかみね ひでゆき</small> 中峯 秀之	慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス 事務長
	<small>ひろかわ かつや</small> 廣川 克也	一般財団法人 SFC フォーラム 業務統括・事務局長

■ オブザーバー

藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理組合 副理事長	<small>いしじま あきら</small> 飯島 昭
藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理組合 理事	<small>こばやし まこと</small> 小林 誠

■ 事務局

藤沢市 都市整備部 西北部総合整備事務所
藤沢市 企画政策部 企画政策課
藤沢市 経済部 産業労働課
株式会社フジタ (藤沢市健康と文化の森地区土地区画整理組合 業務代行者)

■ 事務局補佐

(コンサル) 中央復建コンサルタンツ株式会社
(アドバイザー) <small>いしやま</small> 石山 さつき (慶應義塾大学非常勤講師)
(アドバイザー) <small>むらまつ こうき</small> 村松 功規 (コントラン株式会社 代表取締役社長)

産学公連携実行プランの構成と進め方について

産学公連携実行プラン 構成(案)	各会の進め方(案)					
	R6			R7		
	1回 8月29日	2回 12月4日	3回 本日	4回 6月上旬	5回 9月上旬	6回 12月上旬
1. プランの位置づけ	健康と文化の森地区の概要 産学公連携の具体化に向けた取組	産学公連携実行プランの骨子について	△	●		
2. 策定の背景			△	●		
3. めざす姿			△	●		
4. 展開する施策			施策案の分類 事例紹介	△	●	
5. プランの推進体制			—	△	●	
実行プラン(案)としての とりまとめ						△

●：素案の提示

△：検討事項の提示